

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	防災意識日本一のまちづくり事業
事業主体 (連絡先)	下諏訪町
事業区分	(4) 安心・安全な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,976,480 円 (うち支援金: 1,482,000 円)

事業内容

町民による防災士組織「防災ネットワークしもすわ」に装備品の購入費用を補助する。各地区における避難所設置運営訓練については町と協働で実施する。

また、ジュニア世代、地域での次世代防災リーダーの育成の場として「地域防災リーダー研修」、「ジュニアサバイバルキャンプ」を行う。上記2事業については、防災士資格取得者の研修・活躍の場としても位置付け、防災士のスキルアップを同時に図る。

上記の活動を通じて、地域住民自らが防災組織を運営し、防災活動を推進することで、地域住民の防災に対する更なる意識の向上を図った。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①「防災ネットワークしもすわ」の設立・運営、地域の地形や実情に応じた避難所設置運営訓練の実施など、住民による主体的な活動が行われた。
- ②住民主体による、各種事業の実施や組織運営によって、地域住民の防災知識・意識の向上が図られ、これに伴って地域防災力の強化へと繋がった。
- ③防災士やジュニア世代、地域住民を対象とした、「ジュニアサバイバルキャンプ」、「地域防災リーダー研修」によって、参加者の知識・意識の向上が図られ、地域防災力の強化とリーダー育成に繋がった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

「ジュニアサバイバルキャンプ」、「地域防災リーダー研修」については、今まで外部講師が主体となって行っていたが、平成31年度では、「防災ネットワークしもすわ」が中心となり、外部講師は「防災ネットワークしもすわ」への指導やフォローを行う形で実施し、平成33年度以降は防災ネットワークしもすわが講師となって行えるよう促していきたい。このように、地域の防災リーダーを育成するとともに、地域住民全体の防災知識・意識の底上げを図りたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(活動写真)



【避難所設置運営訓練の様子】

【目標・ねらい】

- ①住民による主体的な活動の推進。
- ②地域防災力の強化を図る。
- ③防災士及び地域での次世代防災リーダーの育成。

※自己評価【A】

【理由】本事業は、住民による組織運営や訓練実施など、主体的な活動の実施によって目的を達成する。また、ジュニア世代や地域住民への研修・訓練により、防災意識の向上が図られたと考える。